第３期ニホンジカ管理計画
令和７年度事業実施計画

資　料　編

令和７年４月

兵庫県

目　　次

1　これまでの経過と現状・・・

1　これまでの経過と現状

(1) これまでの取組

第１期ニホンジカ管理計画策定前の、メスジカ狩猟獣化が行われた平成６年度以降の取組は以下のとおり（表－１）

表－１　ニホンジカ被害対策 これまでの取組

その１ ～第４期保護管理計画（平成６年度～平成 26 年度）

単位：頭

年度	計画	内　　容	捕獲目標	捕獲実績
H6	－	本州部40（現15）市町でメスジカ狩猟獣化	―	5,755
H10	－	狩猟期間延長(12/1～1/31→11/15～2/15)：環境省	―	8,985
H12	第1期 保護管理	本州部63（現26）市町でのメスジカ狩猟獣化	8,000	9,923
H13		個体群管理事業の開始		11,246
H14	第2期 保護管理	県単独での防護柵設置への助成開始	12,000	12,035
H15		本州部63（現26）市町での 狩猟期間の延長(11/15～2/15→11/15～2末) １日当たりの捕獲制限緩和（1頭→2頭） 本州部63（現26）市町と淡路地域6(現3)市町での メスジカ狩猟獣化		13,447
H16				13,190
H17			14,000	15,078
H18				15,575
H19	第3期 保護管理	県下全域での 狩猟期間の延長(11/15～2/15→11/15～2/末) メスジカ狩猟獣化	16,000	16,241
H20		全国でメスジカ狩猟制限廃止：環境省		19,744
H21		第3期シカ保護管理計画第１次変更 本州部での 狩猟期間の延長(11/15～2/末→11/15～3/15) 捕獲制限撤廃(1人2頭→無制限) 地域別捕獲目標の設定 淡路地域での 捕獲制限緩和(1人1頭→2頭) 直径12cm以上のくくりわな解禁 県下全域での わな猟捕獲促進、新型捕獲方式の開発・普及	20,000	20,106
H22		第3期シカ保護管理計画第2次変更 本州部での 地域別捕獲目標の増 淡路地域での 捕獲制限撤廃(1人2頭→無制限) 狩猟期間の延長(11/15～2/末→11/15～3/15) 地域別捕獲目標の設定 県下全域での 狩猟報奨金制度創設、個体数調整事業の拡充、 わな猟による捕獲促進、新型捕獲方式の開発・普及	30,000	36,774
H23				34,884
H24	第4期 保護管理		30,000	31,835
H25		ストップ・ザ・獣害事業の開始	35,000	38,992
H26				45,461

その２ 第１期管理計画～第３期管理計画（平成27年度～令和６年度）

単位：頭

年度	計画	内　　容	捕獲目標	捕獲実績
H27	第1期管理		35,000	45,569
H28		指定管理鳥獣(シカ)捕獲等事業開始	45,000	43,682
H29	第2期管理	全国で1日あたりのシカ捕獲頭数制限の廃止：環境省	45,000	37,676
H30		捕獲専門家チーム制度創設	46,000	37,234
R1		鳥獣対策サポーター派遣支援事業実施		40,937
R2		獣害対策ローラー作戦により総合的な被害対策実施		46,186
R3		捕獲重点化市町・要注意市町指定		48,763
R4	第3期管理	捕獲数管理ユニットの設定、姫路市家島町での直径12cm以上のくくりわな解禁	46,000	43,073
R5			46,000	43,029
R6			46,000	

⑵ 防護柵の設置状況

シカ、イノシシの農地への侵入を物理的に防止するため、西播磨地域、但馬地域、淡路地域を中心に、各種補助制度を活用した防護柵の設置が進んでおり、令和５年度までに累計で 11,329km が設置されている（表－２）。

表－２　防護柵の設置状況（令和５年度までの実績）

単位：km

県民局	国庫	県単独	自治振	市町単	その他	計
神 戸	387	0	0	54	0	442
阪神南	0	0	0	13	0	13
阪神北	279	0	6	156	3	445
東播磨	34	2	0	39	16	91
北播磨	476	128	68	750	0	1,423
中播磨	325	191	113	64	16	709
西播磨	311	504	253	795	135	1,998
但 馬	1,068	269	430	905	5	2,677
丹 波	572	136	30	461	84	1,284
淡 路	1,353	172	145	571	6	2,249
県計	4,807	1,404	1,045	3,809	264	11,329

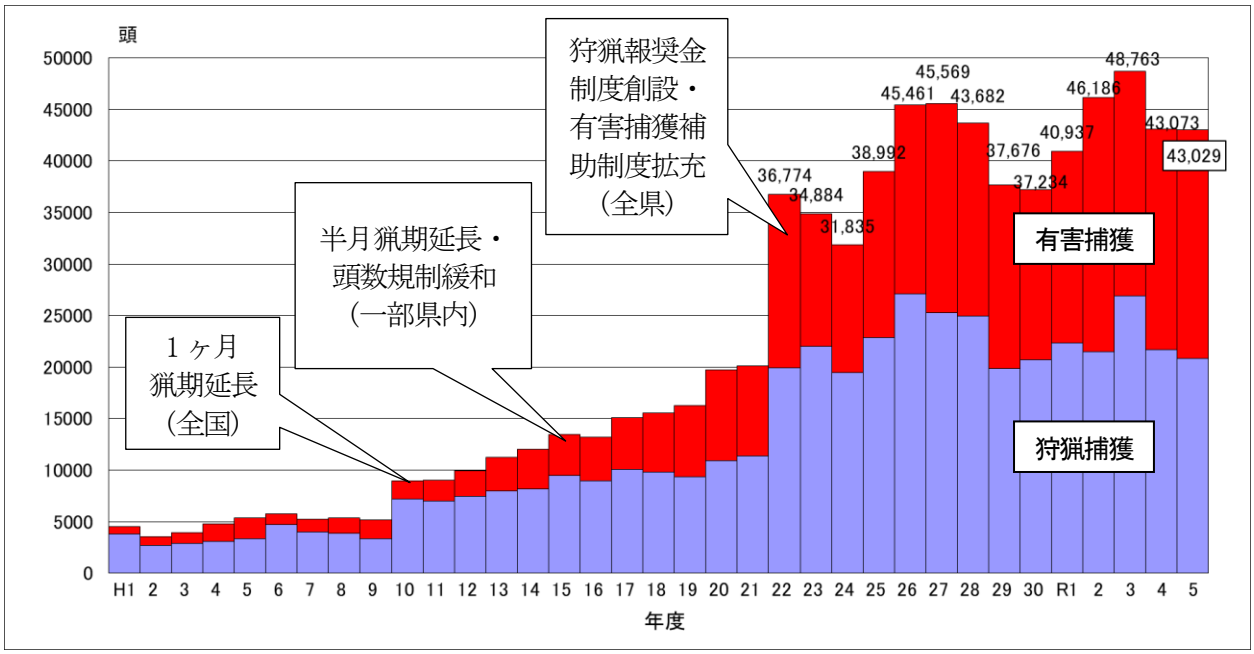
※自治振とは、県単独の自治振興事業
※その他とは、中山間直接支払い、県民局事業で設置したもの
※四捨五入のため、内訳数字の計と合計数字が一致しない場合がある。

(3) 捕獲数の推移

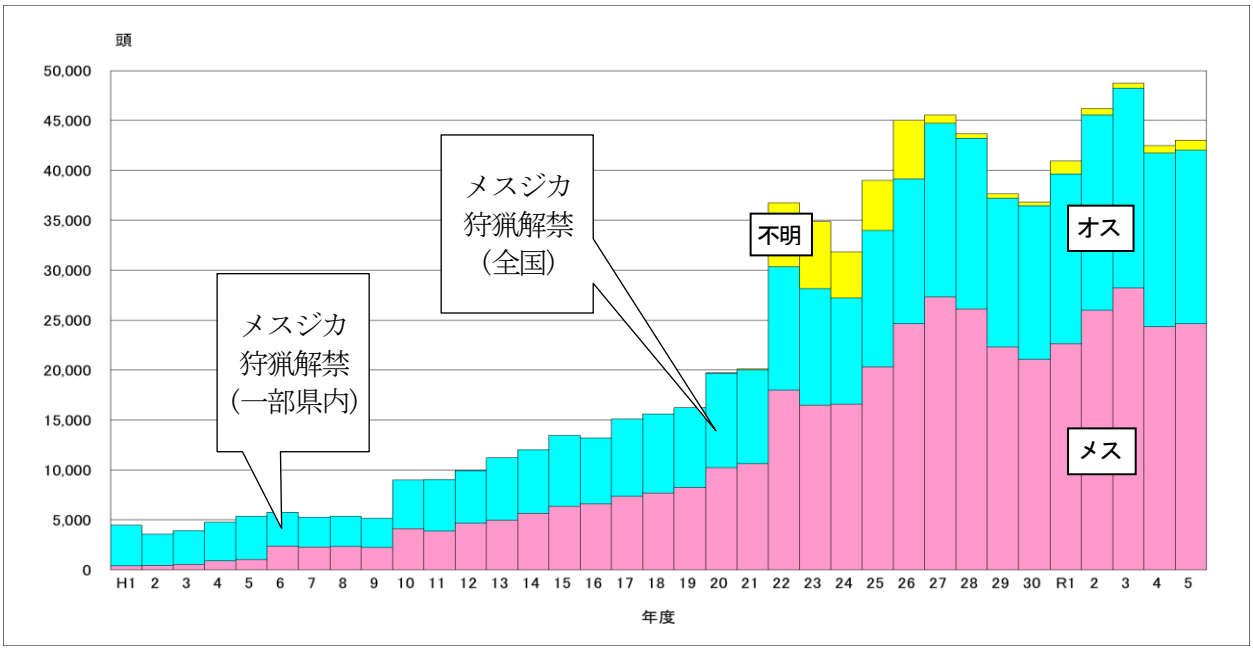
兵庫県ではシカの個体数増加を主な原因として急増した農林業被害を軽減するため、平成６年度以降のメスジカ狩猟解禁、猟期の延長および頭数規制の緩和などの施策により、平成 21 年度までに年間捕獲頭数を約２万頭まで順次増加させた。

平成 22 年度には、森林動物研究センター(平成 19 年度設置)の研究成果により、それまで５万頭前後と考えられていた県内のシカ生息数が約 15 万頭程度(当時)生息しており、毎年３万頭以上を捕獲しなければ生息数が減少に転じないことが明らかになったため、当時のシカ保護管理計画を変更し、年間３万頭の捕獲目標を掲げて、狩猟報奨金制度の創設や有害捕獲補助制度の拡充、新たな捕獲体制の整備等を行った結果、３万５千頭を超える捕獲実績となった（図－１）。

以後これらの施策を継続拡充することにより、毎年４万５千頭前後を捕獲しており、その６割近くが個体数減少に効果的とされるメスの捕獲となっている（図－２）。



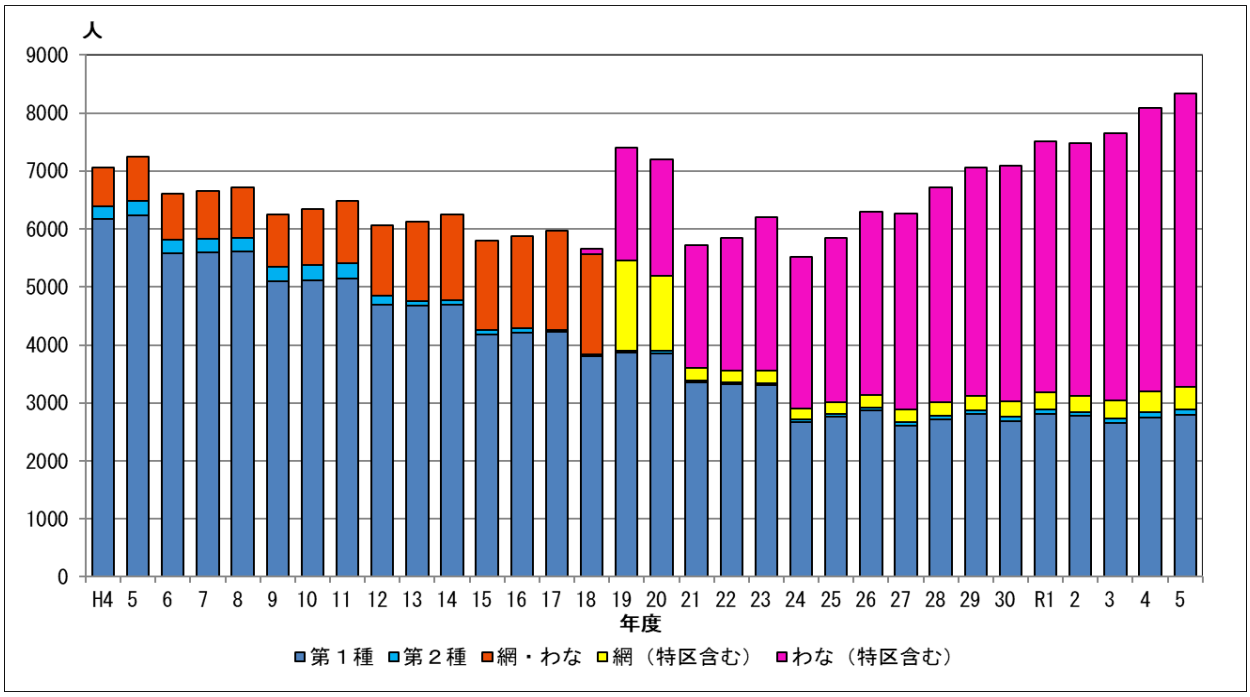
図－１　捕獲数の推移（狩猟捕獲・有害捕獲別）



図－２　捕獲数の推移（雌雄別）

(4) 免許種別狩猟者数の推移

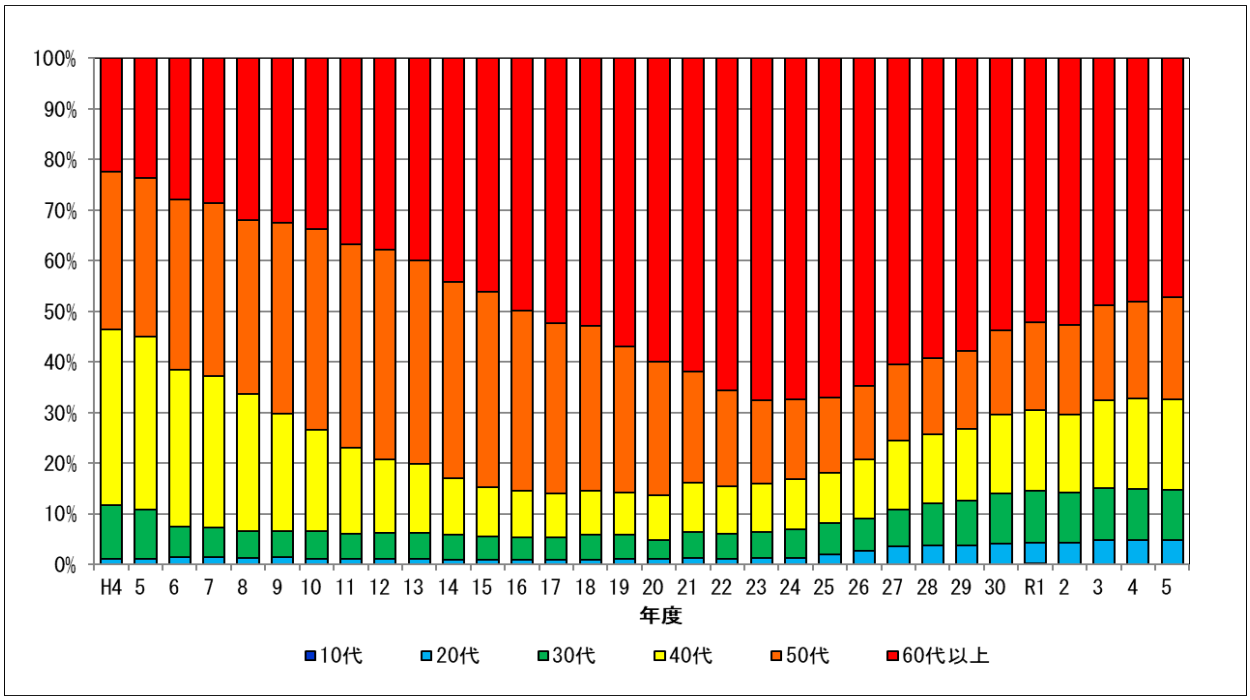
本県の狩猟免許所持者数は、ピーク時の昭和 59 年には１万人近くであったが、年々減少して平成 24 年度には約 5,500 人まで落ち込んだ。その後、被害農家自らが狩猟免許を取得するなど、地域ぐるみの捕獲体制づくりが進んだことや、環境省による認定鳥獣捕獲等事業者制度の創設などにより、わな免許を中心に増加傾向に転じ、令和４年度には８千人台まで増加した（図－３）。



図－３　免許種別狩猟者の推移

(5) 年代別狩猟者割合の推移

年代別に見ると 60 代以上が多く高齢化が進んでいるが、近年はわずかながら 50 代以下の割合が増加傾向にある（図－４）。



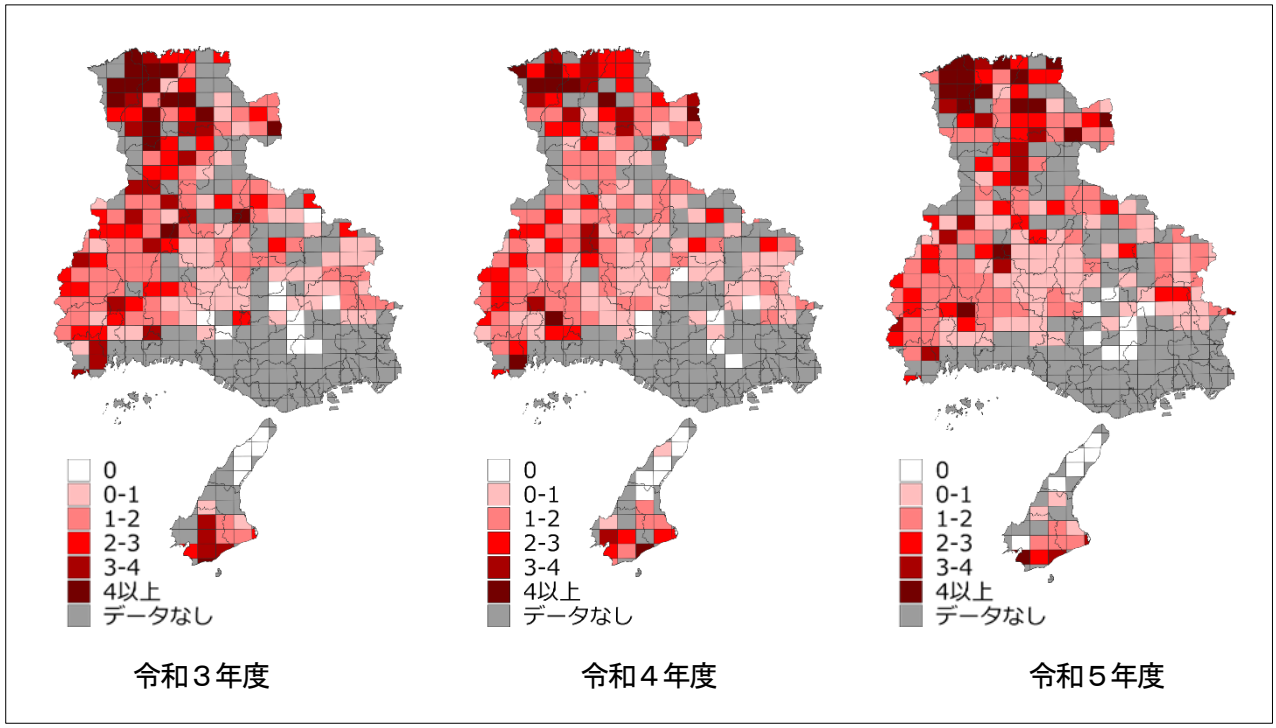
図－４　年代別狩猟者割合の推移

(6) 密度指標の空間分布

狩猟期に実施する狩猟者へのアンケート調査（出猟カレンダー）を元に算出する SPUE(11-12 月)は、広域的な密度分布の把握に適しており、シカ管理計画の目標の指標値に位置付けている。

令和３年度から令和５年度のシカの分布を見ると、但馬北西部の海岸に近いところで密度が高い傾向にある一方で但馬南部や播磨北中部および丹波地域には報告データのない場所が散見される。

これはシカの生息密度低下にともない狩猟者の入り込みが減少したことがその一因と考えられる（図－５）。



図－５　シカ SPUE(11-12 月)の推移

(7) 密度指標の変化

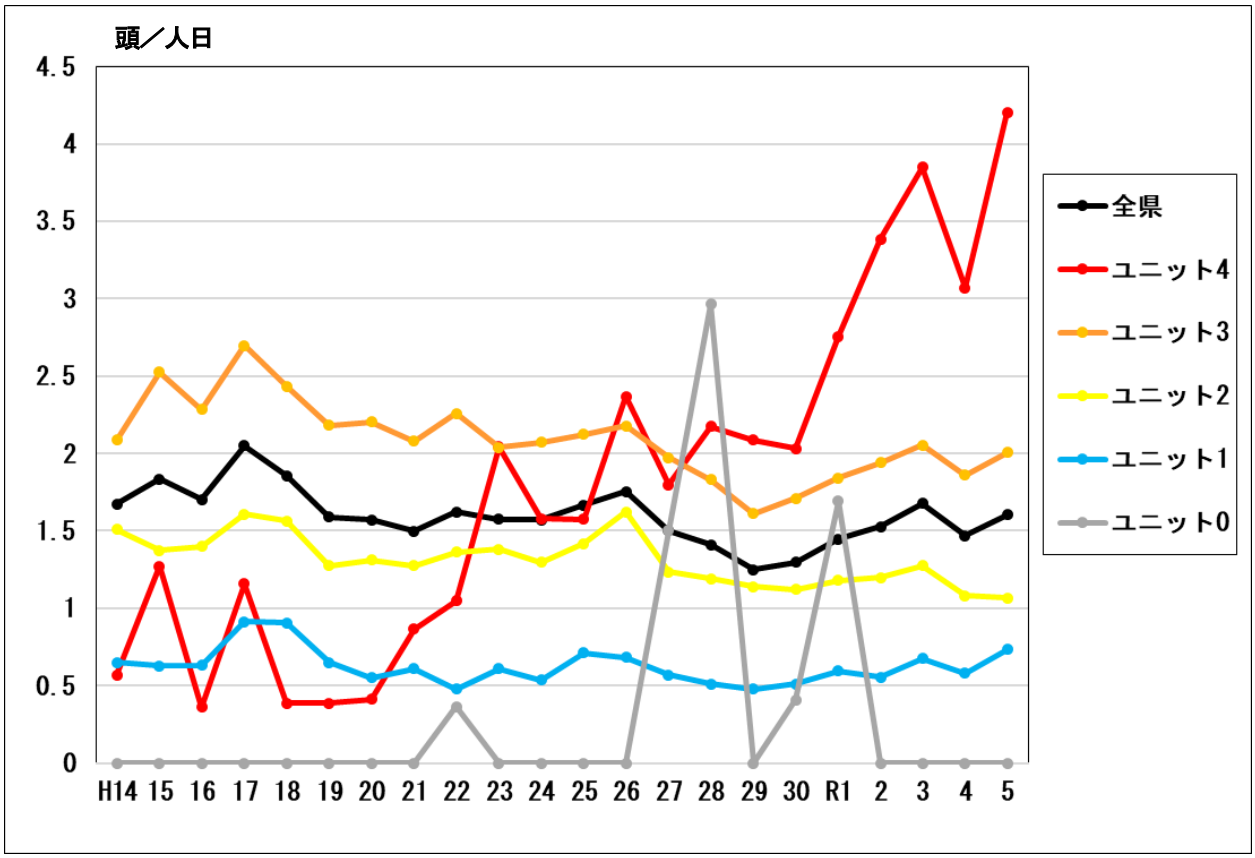
シカの生息数推定にあたり、密度指標として狩猟期の SPUE(11-12 月)、はこわな CPUE(狩猟期)、くくりわな CPUE(狩猟期)と糞塊密度を用いて毎年推計している。

これらの指標について、SPUE は積雪の有無による見つけやすさの変化や、糞塊密度は気温による糞の分解速度の変化（気温が高い場合は実際の生息密度に対して過小に、低い場合は過大になる）など、環境要因や狩猟期の報奨金制度創設といった制度の変化に伴う偏りが生じる可能性があるため、複数の指標を用いることで、できるだけ誤差が少なくなるように考慮している。

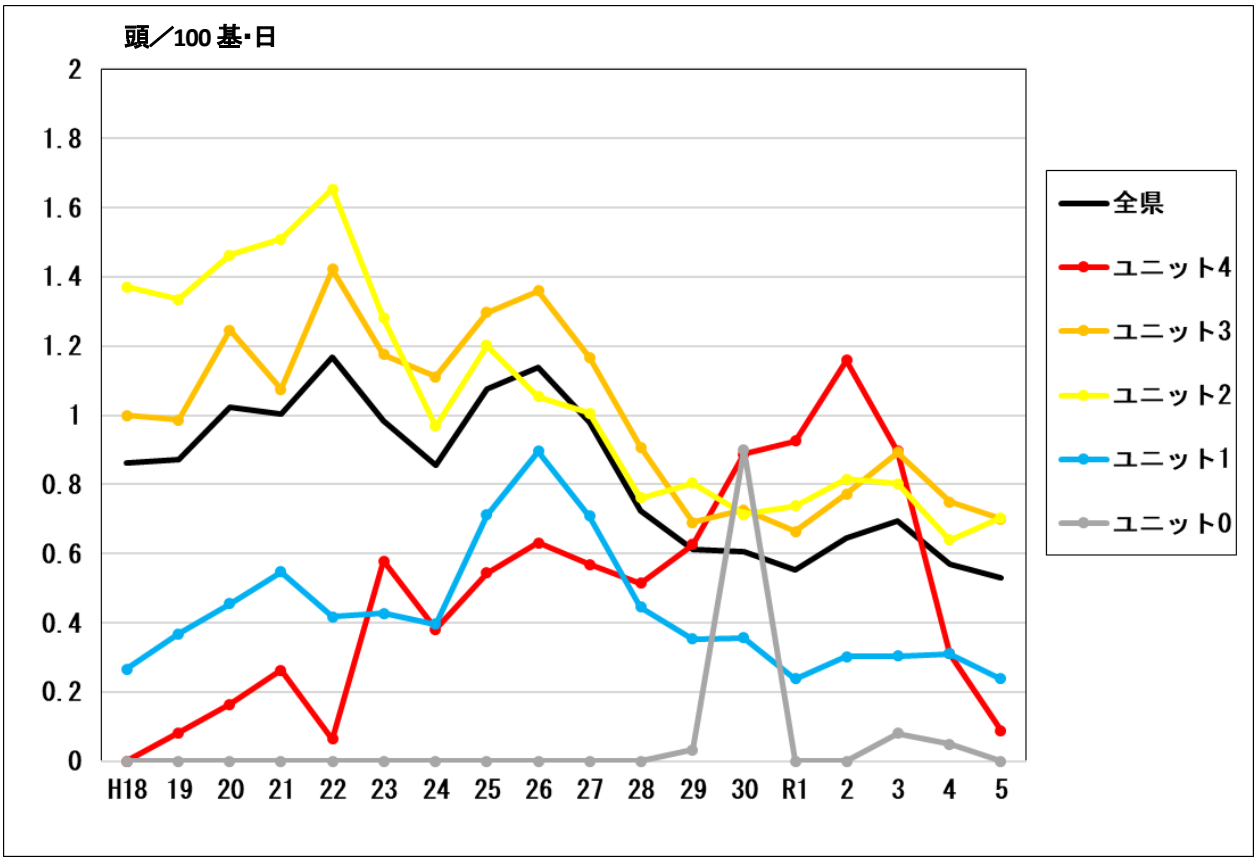
以下に、各指標についてユニットごとの平均値の推移（図－６，７，８，９）を示すが、前述のとおり指標ごとに気温や積雪量その他の気象条件等様々な要因による誤差が生じるため、平均値の動向は指標間で必ずしも一致しない。

近年、シカ捕獲数に占める有害捕獲の割合が高まっているが、現行では有害捕獲に関する密度指標のデータが収集できていないが、推定生息数の誤差を小さくしていくために各市町が実施している有害捕獲の密度指標データの収集を検討する必要がある。

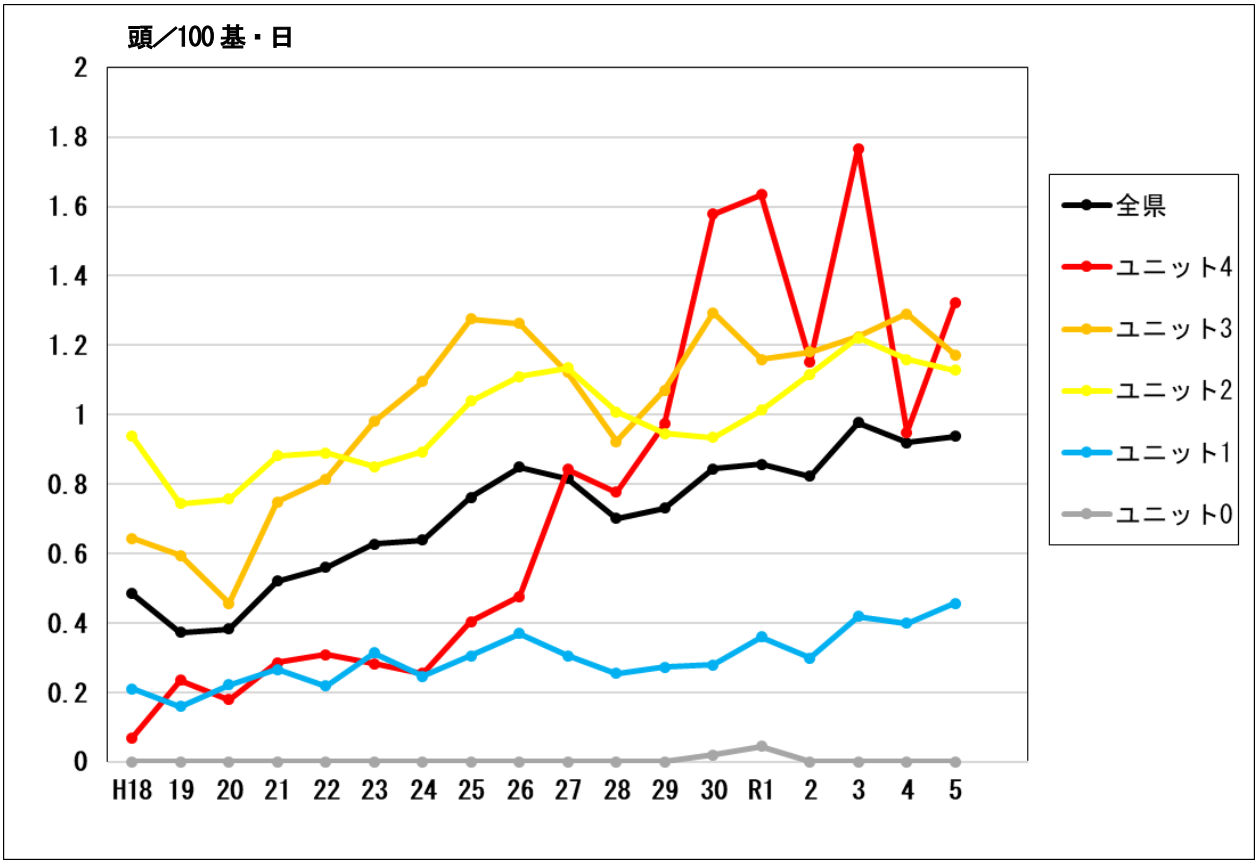
※ SPUE(11-12 月)：１人の狩猟者が１回の出猟で目撃したシカの頭数。積雪の影響を受けやすい指標のため、11-12 月の値を集計。
※ はこわな CPUE(狩猟期)・くくりわな CPUE(狩猟期)：100 ワナ日あたり捕獲数。努力量 100 ワナ日以上の場合のみ計算。
※ 糞塊密度：１ｋｍ当たりに落ちていたシカの糞塊数



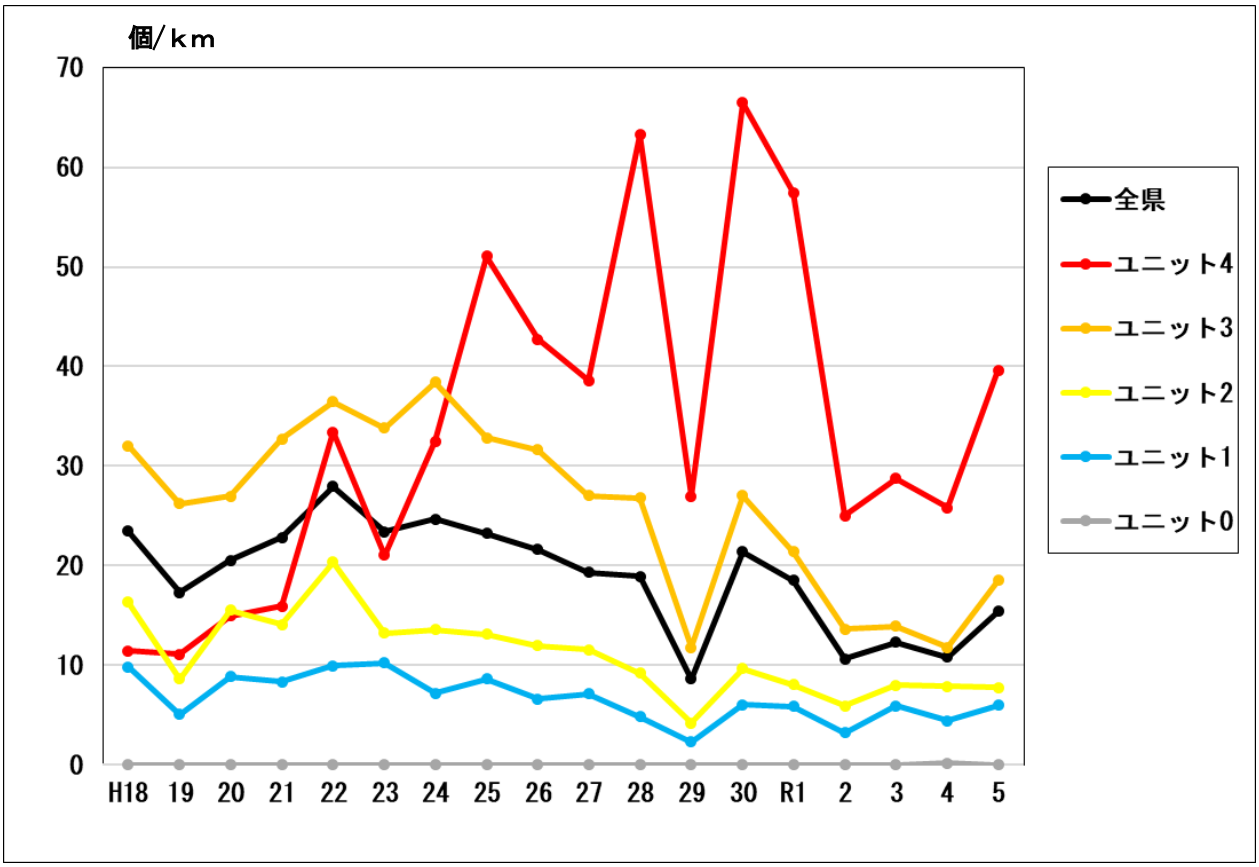
図－６　銃猟 SPUE(11-12 月)の年次推移



図－７　はこわな CPUE(狩猟期)の年次推移



図－８　くくりわな CPUE(狩猟期)の年次推移



図－９　糞塊密度の年次推移

＜捕獲目標算出の方法＞

以下の表は、令和５年度末の市町別推定生息数に、市町別推定増加率と単年目標減少率を乗じて、令和７年度の市町別捕獲目標を算定したものである（表－３）。

表－３　令和７年度市町別捕獲目標算出

【単位：頭、%】

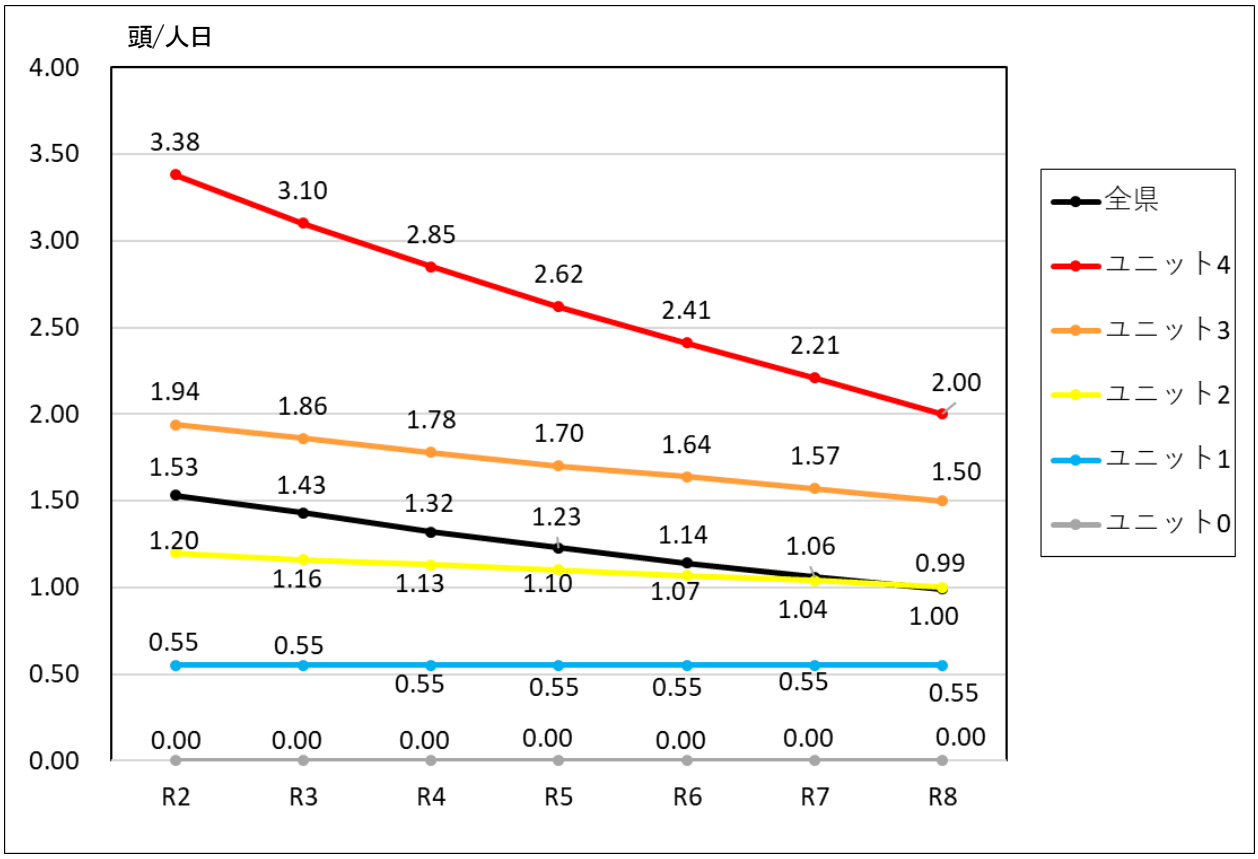
ユニット	市町	R5 SPUE (11-12月) 目標	R5 SPUE (11-12月) 実績	単年目標減少率 a	R5推定増加率 b	R5生息数予測(捕獲前) c	R5 捕獲数合計 d	R5 生息数(捕獲後) e=c-d	R5 捕獲率(%) f=d/c	R6生息数予測(捕獲前) g=e×b	R6生息数予測(捕獲後) h=e×a	R7生息数予測(捕獲前) i=h×b	R7生息数予測(捕獲後) j=h×a	R7 捕獲見込数 k=i-j	R7 捕獲目標(暫定) ｱ=k	R5 捕獲実績 ｲ=d	R7 捕獲目標 ｱorｲ多い方 ｳ	R7 捕獲目標(暫定) ｴ=ｱ	R7 捕獲目標(確定) ｳ･ｴを補正
4	香美町	2.46	3.43	0.92	1.28	14,094	4,143	9,951	29	12,737	9,155	11,718	8,423	3,295	3,295	4,143	4,143	—	4,140
	新温泉町	3.12	5.60	0.92	1.24	9,518	4,231	5,287	44	6,556	4,864	6,031	4,475	1,556	1,556	4,231	4,231	—	4,230
	小 計	2.62	4.20			23,612	8,374	15,238	35	19,293	14,019	17,749	12,898	4,851	4,851	8,374	8,374	—	8,370
3	川西市	1.53	1.70	0.96	1.61	610	252	358	41	576	344	554	330	224	224	252	252	—	250
	たつの市	2.07	2.18	0.96	1.34	5,182	1,287	3,895	25	5,219	3,739	5,010	3,589	1,421	1,421	1,287	1,421	—	1,420
	赤穂市	1.79	2.17	0.96	1.32	3,195	917	2,278	29	3,007	2,187	2,887	2,100	787	787	917	917	—	910
	宍粟市	1.63	1.75	0.96	1.17	23,515	2,619	20,896	11	24,448	20,060	23,470	19,258	4,212	4,212	2,619	4,212	—	4,210
	太子町	3.52	0.71	0.96	1.44	335	141	194	42	279	186	268	179	89	89	141	141	—	140
	上郡町	1.46	1.92	0.96	1.19	4,300	1,290	3,010	30	3,582	2,890	3,439	2,774	665	665	1,290	1,290	—	1,290
	佐用町	1.75	1.83	0.96	1.35	11,017	3,001	8,016	27	10,822	7,695	10,388	7,387	3,001	3,001	3,001	3,001	—	3,000
	豊岡市	1.44	2.48	0.96	1.32	26,057	6,645	19,412	26	25,624	18,636	24,600	17,891	6,709	6,709	6,645	6,709	—	6,700
	養父市	1.94	2.10	0.96	1.26	15,882	2,886	12,996	18	16,375	12,476	15,720	11,977	3,743	3,743	2,886	3,743	—	3,740
	洲本市	1.71	1.26	0.96	1.37	4,026	781	3,245	19	4,446	3,115	4,268	2,990	1,278	1,278	781	1,278	—	1,270
	南あわじ市	2.14	2.84	0.96	1.35	7,019	1,603	5,416	23	7,312	5,199	7,019	4,991	2,028	2,028	1,603	2,028	—	2,020
	小 計	1.70	2.00			101,138	21,422	79,716	21	101,690	76,527	97,623	73,466	24,157	24,157	21,422	24,992	—	24,950
2	多可町	1.14	0.86	0.97	1.17	5,263	926	4,337	18	5,074	4,207	4,922	4,081	841	841	926	—	841	840
	姫路市	1.06	1.19	0.97	1.31	8,589	2,810	5,779	33	7,570	5,606	7,344	5,438	1,906	1,906	2,810	—	1,906	1,900
	神河町	1.20	0.97	0.97	1.12	5,857	494	5,363	8	6,007	5,202	5,826	5,046	780	780	494	—	780	780
	市川町	1.08	0.73	0.97	1.20	2,098	299	1,799	14	2,159	1,745	2,094	1,693	401	401	299	—	401	400
	福崎町	1.10	0.76	0.97	1.33	633	229	404	36	537	392	521	380	141	141	229	—	141	140
	相生市	1.09	1.03	0.97	1.30	2,184	420	1,764	19	2,293	1,711	2,224	1,660	564	564	420	—	564	560
	朝来市	1.28	1.44	0.97	1.16	13,081	1,620	11,461	12	13,295	11,117	12,896	10,783	2,113	2,113	1,620	—	2,113	2,110
	丹波市	0.93	1.13	0.97	1.18	11,879	2,564	9,315	22	10,992	9,036	10,662	8,765	1,897	1,897	2,564	—	1,897	1,890
	小 計	1.10	1.07			49,584	9,362	40,222	19	47,927	39,016	46,489	37,846	8,643	8,643	9,362	—	8,643	8,620
1	神戸市	0.05	0.13	1.00	1.19	336	26	310	8	369	310	369	310	59	59	26	59	—	59
	西宮市	0.00	0.00	1.00	1.14	58	22	36	38	41	36	41	36	5	5	22	22	—	22
	宝塚市	0.28	0.43	1.00	1.36	496	170	326	34	443	326	443	326	117	117	170	170	—	170
	三田市	0.52	1.09	1.00	1.33	2,597	681	1,916	26	2,548	1,916	2,548	1,916	632	632	681	681	—	680
	猪名川町	0.89	0.98	1.00	1.44	1,755	687	1,068	39	1,538	1,068	1,538	1,068	470	470	687	687	—	680
	加古川市	0.08	0.06	1.00	1.13	47	7	40	15	45	40	45	40	5	5	7	7	—	7
	高砂市	0.00	0.00	1.00	1.24	6	0	6	0	7	6	7	6	1	1	0	1	—	1
	西脇市	0.89	0.69	1.00	1.28	2,646	511	2,135	19	2,733	2,135	2,733	2,135	598	598	511	598	—	590
	三木市	0.11	0.00	1.00	1.20	111	4	107	4	128	107	128	107	21	21	4	21	—	21
	小野市	0.01	0.04	1.00	1.32	74	1	73	1	96	73	96	73	23	23	1	23	—	23
	加西市	0.72	1.02	1.00	1.45	1,157	303	854	26	1,238	854	1,238	854	384	384	303	384	—	380
	加東市	0.11	0.23	1.00	1.14	565	30	535	5	610	535	610	535	75	75	30	75	—	75
	丹波篠山市	0.90	0.95	1.00	1.30	7,753	1,421	6,332	18	8,232	6,332	8,232	6,332	1,900	1,900	1,421	1,900	—	1,900
	淡路市	0.05	0.07	1.00	1.29	80	8	72	10	93	72	93	72	21	21	8	21	—	21
	小 計	0.55	0.73			17,681	3,871	13,810	22	18,121	13,810	18,121	13,810	4,311	4,311	3,871	4,649	—	4,629
0	尼崎市	0.00	0.00	—	—		0		—						0	0	—	—	0
	芦屋市	0.00	0.00	—	—		0		—						0	0	—	—	0
	伊丹市	0.00	0.00	—	—		0		—						0	0	—	—	0
	明石市	0.00	0.00	—	—		0		—						0	0	—	—	0
	稲美町	0.00	0.00	—	—		0		—						0	0	—	—	0
	播磨町	0.00	0.00	—	—		0		—						0	0	—	—	0
	小 計	0.00	0.00				0		—						0	0	—	—	0
全 県		1.23	1.60			192,015	43,029	148,986	22	187,031	143,372	179,982	138,020	41,962	41,962	43,029	38,015	8,643	46,569

注）ユニット0の市町については、捕獲目標の算定は行わないが、シカ分布拡大防止のための捕獲に努める。　≒ 46,000
（ユニット０：シカ未確認またはほとんど生息が見られない市町）

注）R6捕獲目標(確定)が100頭以上の場合は、10頭未満を切り捨てている。

＜参考試算＞

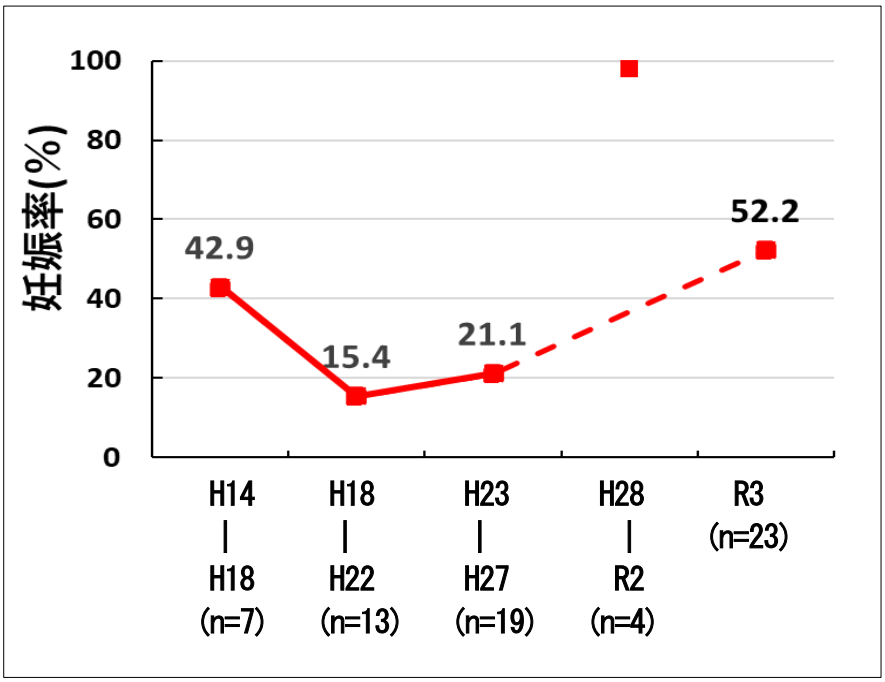
以下のグラフは、令和２年度の数値を基準とした、令和８年度末までのユニット別 SPUE（11-12 月）の目標値を表したものである（図－10）



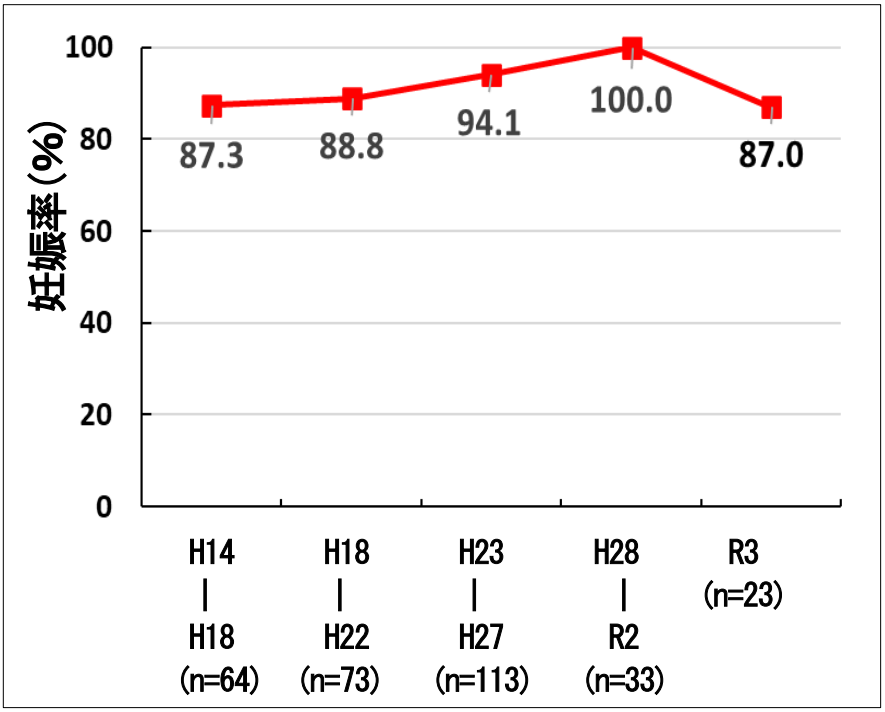
図－10 計画期間内のユニット別 SPUE（11－12 月）の目標数値

(8) 妊娠率の推移

亜成獣の妊娠率は高密度化が進んだ平成 22 年度前後に 15－20%程度まで低下したが、令和３年度の調査では 52%まで上昇しており、回復傾向にあると考えられた。成獣の妊娠率は変動が少なく、80%以上の高い値が継続している。(図－11, 12)



図－11　亜成獣の妊娠率（n=66）

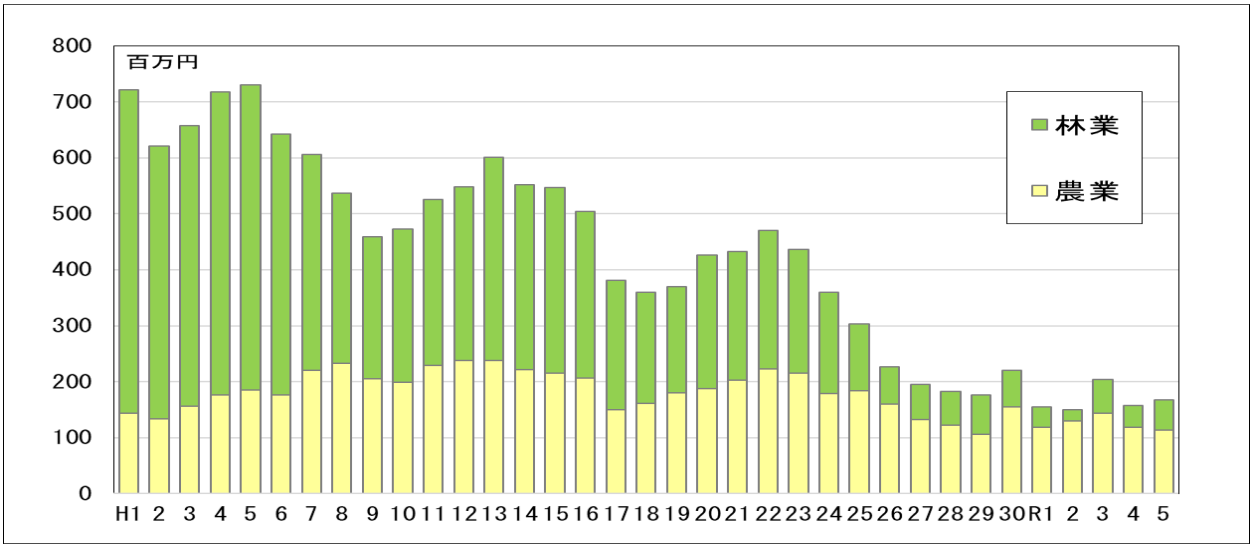


図－12　成獣の妊娠率（n=352）

⑼ シカによる農林業被害の推移

シカによる農林業被害は平成 22 年度以降減少傾向を示しており、令和３年度はシカの分布拡大や、大雪で森林内の獣害防護柵が壊れたことによる林業被害の増加等により、約２億円の被害金額となり増加に転じ､その後は再び減少傾向となっている（図－13）

農業被害において近年増加傾向にある市町があり、林業被害においては年変動が大きく、植栽事業との関連を調査するなど、個別の被害対策を検討する必要がある（表―４，５）。



図－13　農林業被害の推移

表－４　ニホンジカによる農業被害の推移（令和元年度～令和５年度）

（単位　被害面積：ha　被害金額：千円）

農林名	市町村名	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		R5/R4（被害金額）
		被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	
神戸	神戸市											―
阪神	尼崎市											―
	西宮市					0.05	62	0.01	11			
	芦屋市											―
	伊丹市											―
	宝塚市	0.74	1,077	0.94	1,457	0.25	331	0.61	582	0.58	1,042	179%
	川西市			1.00	5,277	2.00	12,725	1.00	5,941	0.80	3,013	51%
	三田市	3.61	4,021	2.90	3,890	2.84	4,185	3.95	4,510	6.09	6,047	134%
	猪名川町	5.51	5,091	7.95	6,404	6.57	8,202	3.85	4,876	3.90	4,005	82%
	計	9.86	10,189	12.79	17,028	11.72	25,505	9.42	15,920	11.37	14,107	89%
加古川	明石市											―
	加古川市											―
	高砂市											―
	稲美町											―
	播磨町											―
	計											―
加東	西脇市	4.56	3,493	2.71	2,948	1.96	1,957	1.86	1,992	1.63	1,686	85%
	三木市					0.06	75					―
	小野市											―
	加西市	2.71	850	2.40	751	2.14	676	2.90	1,107	3.20	1,703	154%
	加東市	0.02	102	0.01	12							―
	多可町	1.82	2,432	3.01	4,567	0.17	208	0.94	1,112	0.75	858	77%
	計	9.11	6,877	8.13	8,278	4.33	2,916	5.70	4,211	5.58	4,247	101%
姫路	姫路市	4.43	6,026	5.86	7,688	19.23	22,801	20.15	22,214	21.48	21,990	99%
	神河町	6.36	2,598	1.32	245	1.14	283	1.34	279	1.21	379	136%
	市川町	1.47	488	0.31	28	0.49	52	0.75	316	2.87	2,457	778%
	福崎町	0.22	20	0.02	2	0.12	153	0.13	153	0.21	231	151%
	計	12.49	9,132	7.51	7,963	20.98	23,289	22.37	22,962	25.77	25,057	109%
光都	相生市	0.86	429	1.36	325	2.77	1,121	1.37	639	4.81	1,169	183%
	たつの市	2.25	1,948	3.07	3,177	6.21	3,736	6.21	1,992	11.54	2,038	102%
	赤穂市	6.15	3,300	10.53	1,242	12.67	1,519	12.15	2,082	2.35	760	37%
	宍粟市	2.67	4,017	4.30	5,861	3.06	3,242	0.18	206	0.04	44	21%
	太子町	0.10	127	1.05	1,335	0.07	87					―
	上郡町	3.16	1,605	14.65	2,543	6.59	741	3.28	416	6.15	1,243	299%
	佐用町					3.10	2,739	5.50	4,281	7.24	2,854	67%
	計	15.19	11,426	34.96	14,483	34.47	13,185	28.69	9,616	32.13	8,108	84%
豊岡	豊岡市	29.45	32,610	24.55	26,028	20.53	22,895	20.12	19,826	19.58	18,684	94%
	香美町	0.51	1,656	10.47	17,947	6.35	17,871	4.63	7,099	4.63	11,820	167%
	新温泉町	5.07	5,509	2.96	3,684	4.69	6,400	3.78	4,308	2.97	2,791	65%
	計	35.03	39,775	37.98	47,659	31.57	47,166	28.53	31,233	27.18	33,295	107%
朝来	養父市	4.11	7,036	4.03	7,172	3.19	4,732	3.34	5,352	1.69	3,773	70%
	朝来市	1.21	1,778	1.05	1,481	0.69	1,583	0.65	714	2.03	2,694	377%
	計	5.32	8,814	5.08	8,653	3.88	6,315	3.99	6,066	3.72	6,467	107%
丹波	丹波篠山市	4.27	6,653	4.49	2,608	4.15	4,368	4.19	4,810	4.01	4,546	95%
	丹波市	19.74	18,710	11.13	13,810	12.06	13,919	11.61	12,304	9.12	10,409	85%
	計	24.01	25,363	15.62	16,418	16.21	18,287	15.80	17,114	13.13	14,955	87%
洲本	洲本市	0.82	1,662	0.84	1,671	1.28	2,267	2.19	3,722	1.66	3,167	85%
	南あわじ市	1.59	5,564	1.80	7,110	1.40	4,522	2.17	7,247	1.27	4,610	64%
	淡路市											―
	計	2.41	7,226	2.64	8,781	2.68	6,789	4.36	10,969	2.93	7,777	71%
合計		113.40	118,802	124.70	129,263	125.84	143,452	118.86	118,091	121.81	114,013	97%

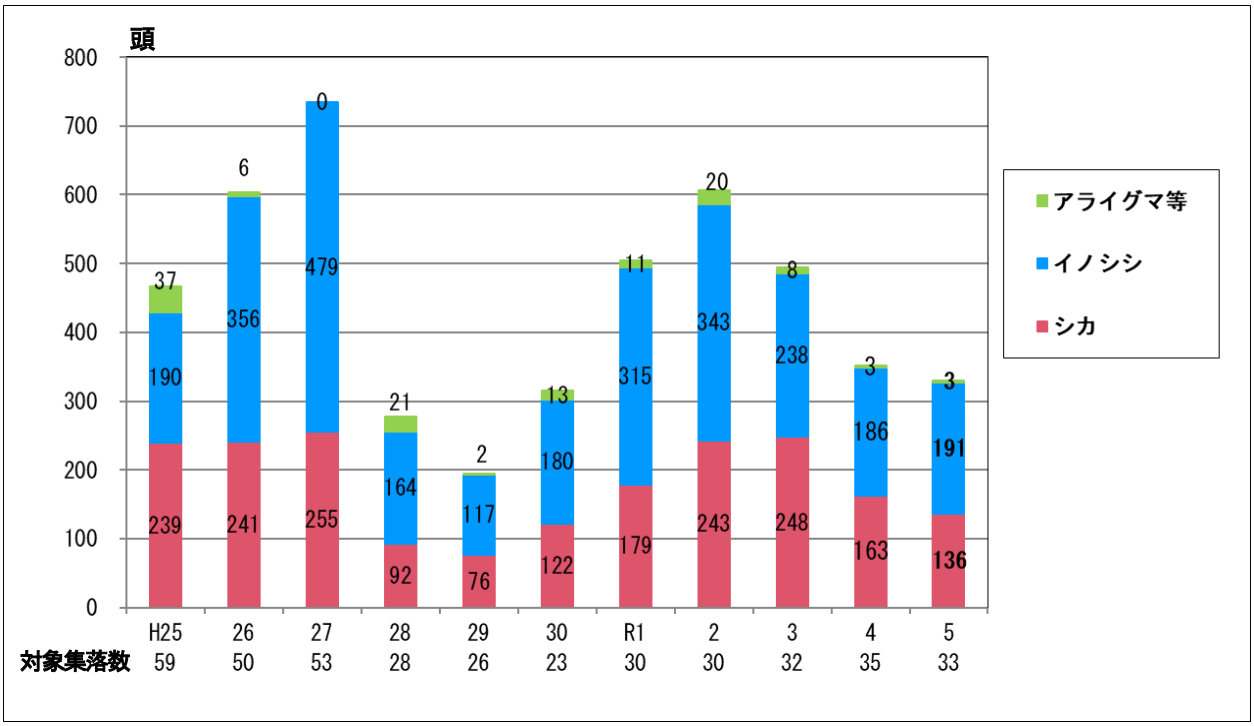
表－５　ニホンジカによる林業被害の推移（令和元年度～令和５年度）

（単位　被害面積：ha　被害金額：千円）

農林名	市町村名	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		R5/R4（被害金額）
		被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	被害面積	被害金額	
神戸	神戸市											－
阪神	尼崎市											－
	西宮市											－
	芦屋市											－
	伊丹市											－
	宝塚市											－
	川西市											－
	三田市											－
	猪名川町											－
	計											－
加古川	明石市											－
	加古川市											－
	高砂市											－
	稲美町											－
	播磨町											－
	計											－
加東	西脇市	0.50	1,259	0.10	123							－
	三木市											－
	小野市											－
	加西市											－
	加東市											－
	多可町	1.00	1,956			0.05	60					－
	計	1.50	3,215	0.10	123	0.05	60					－
姫路	姫路市											－
	神河町	4.01	6,026					0.74	1,058	0.93	939	89%
	市川町	0.49	1,039									－
	福崎町											－
	計	4.50	7,065					0.74	1,058	0.93	939	89%
光都	相生市											－
	たつの市											－
	赤穂市											－
	宍粟市											－
	太子町											－
	上郡町											－
	佐用町											－
	計											－
豊岡	豊岡市	2.20	3,093	4.23	5,099			1.47	3,210	2.50	2,975	93%
	香美町	7.87	12,831	1.20	2,914	0.85	1,038	0.60	786	4.39	9,353	1190%
	新温泉町	3.50	4,415	2.80	3,582	25.00	44,900	11.60	24,944	16.28	36,269	145%
	計	13.57	20,339	8.23	11,595	25.85	45,938	13.67	28,940	23.17	48,597	168%
朝来	養父市	0.40	440	2.80	3,871	9.50	11,292	3.71	4,572	2.05	3,347	73%
	朝来市	4.64	4,685	2.72	4,779	0.20	332	2.49	1,932			
	計	5.04	5,125	5.52	8,650	9.70	11,624	6.20	6,504	2.05	3,347	51%
丹波	丹波篠山市											－
	丹波市					3.46	2,732	2.81	2,574	0.20	134	5%
	計					3.46	2,732	2.81	2,574	0.20	134	5%
洲本	洲本市											－
	南あわじ市											－
	淡路市											－
	計											－
合計		24.61	35,744	13.85	20,368	39.06	60,354	23.42	39,076	26.35	53,017	136%

(10) 被害集落自立サポート事業の取組

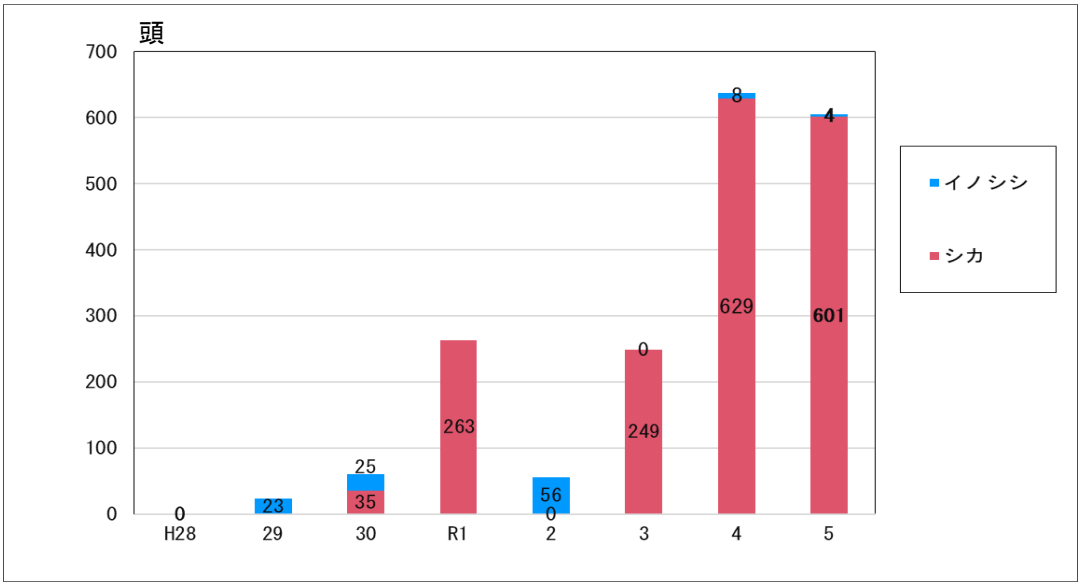
捕獲を中心とした集落の被害対策として平成 25 年度から実施してきた「ストップ・ザ・獣害事業」に代わり、令和４年度から防除にも重点を置き集落の住民が自主的に対策を行う「被害集落自立サポート事業（対策の実践支援）」を実施し、集落の防除対策や捕獲班の活動をサポートすることで、シカ、イノシシ、アライグマ等の被害軽減を図っている。（図－14）。



図－14　被害集落自立サポート事業（対策の実践支援）捕獲頭数の推移
(H25～R3 はストップ･ザ･獣害事業の実績)

(11) 指定管理鳥獣捕獲等事業の取組

平成 26 年の鳥獣保護法(当時)改正により創設された制度で、集中的かつ広域的に管理を図る必要があるとして環境大臣が定めた鳥獣(指定管理鳥獣：現行ではシカ、イノシシ)を、都道府県が捕獲する「指定管理鳥獣捕獲等事業」について、兵庫県では平成 28 年度から継続して実施しており、令和５年度に 601 頭のシカを捕獲した（図－15）。

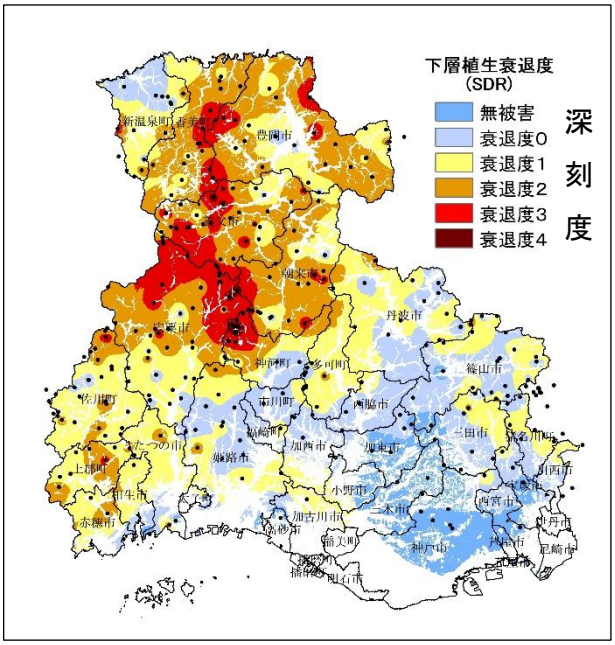


図－15　指定管理鳥獣捕獲等事業捕獲頭数の推移

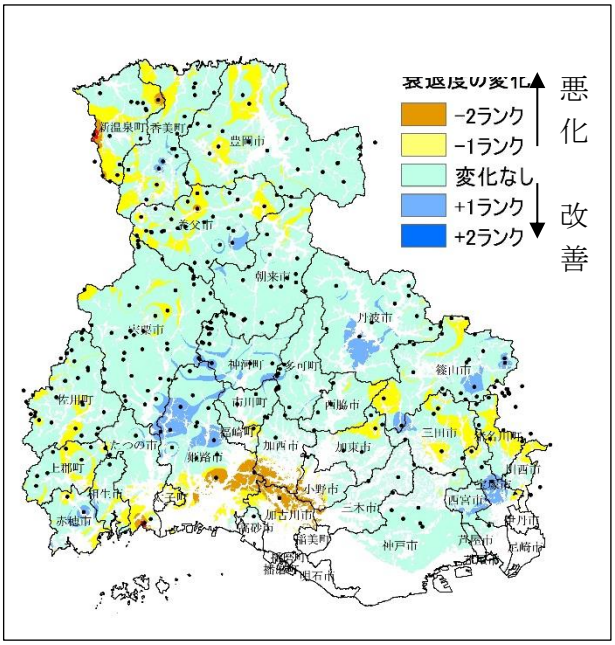
(12) 下層植生被害の推定分布

４年ごとに森林の下層植生衰退度を調査し、その結果を公表している。最新データである令和４年度（図－16）と、その前回のデータとなる平成 30 年度の衰退度の変化を見ると、SPUE が高く高密度でシカが生息していると考えられる北但馬地域において、衰退度がさらに進行し被害が深刻化した森林が見受けられるが、３ランク以上悪化する急激な衰退は見られなくなった（図－17）。

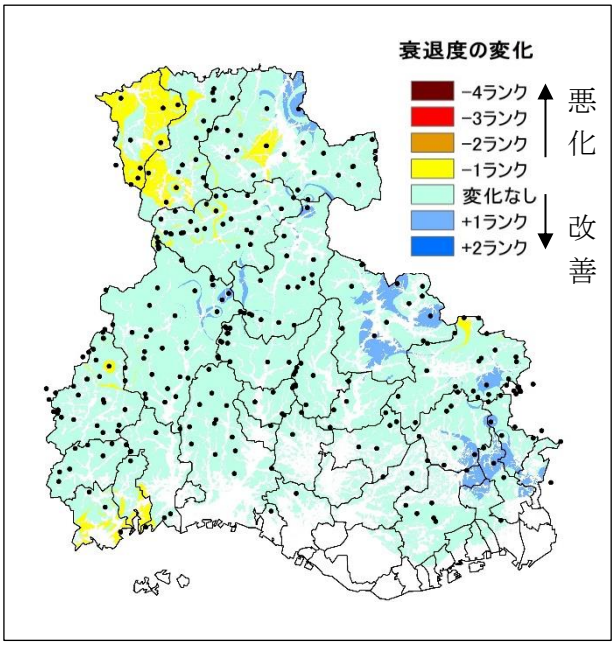
令和８年度までに県全体の SPUE(11-12 月)が 1.0 を下回った場合の将来予測では、下層植生の衰退の進行が止まり（図－18）、さらに令和 12 年度までに SPUE(11-12 月)が 0.5 を下回った場合には、下層植生が回復するエリアの拡大（図－19）が見込まれる。



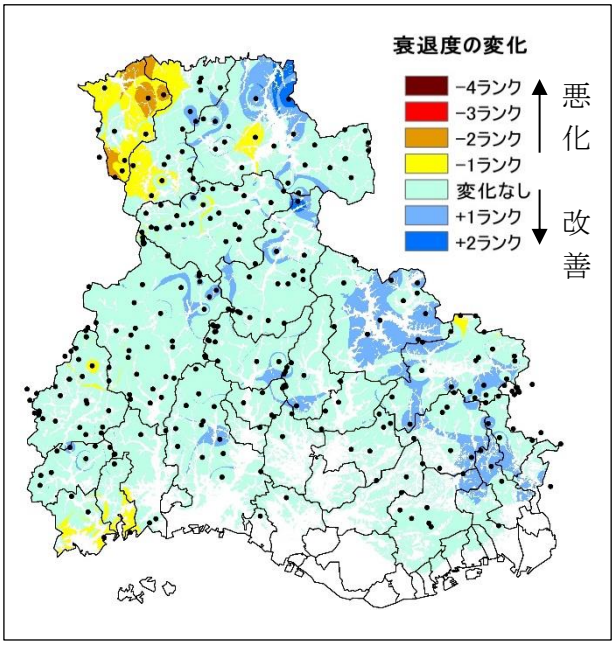
図－16　下層植生衰退の状況(R4 年度)



図－17　衰退の変化(H30→R4 年度)

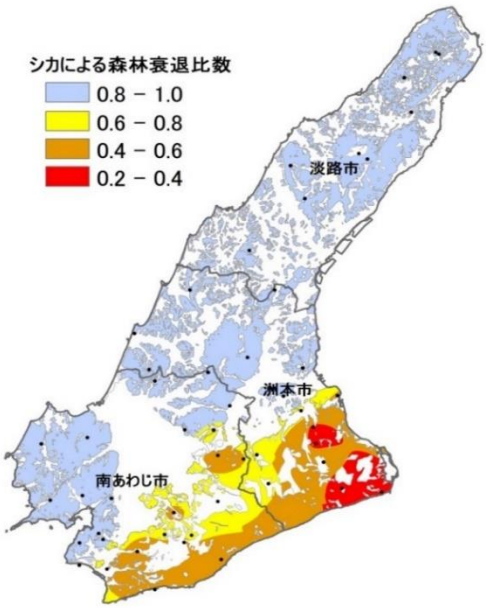


図－18 下層植生衰退の将来予測
(令和 8 年度で SPUE(11-12 月)が 1.0 を下回った場合)



図－19 下層植生衰退の将来予測
(令和 12 年度で SPUE(11-12 月)が 0.5 を下回った場合)

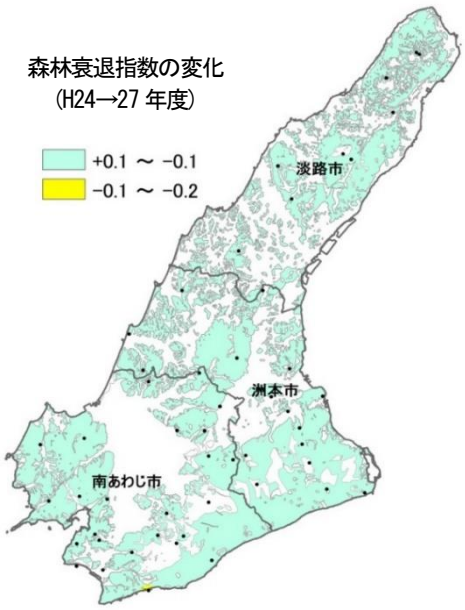
淡路地域では、洲本市及び南あわじ市南部の諭鶴羽山地において、森林植生衰退が顕著であり、平成24年度と27年度でほぼ変化が無い（図－20,21）



年度		1.0-0.8	0.8-0.6	0.6-0.4	0.4-0.2	0.2-0.0	合計
平成15年度	km^2	196.8	35.2	59.1	13.1	0.0	304.1
	%	64.7	11.6	19.4	4.3	0.0	100.0

図－20　淡路地域における広葉樹林の森林衰退比数別の推定分布面積

※比数とはシカの影響のない林分の平均的な立木密度（1.0）に対する比率



図－21　森林衰退指数の変化（平成24年度 → 平成27年度）

(13) 推定生息数の状況

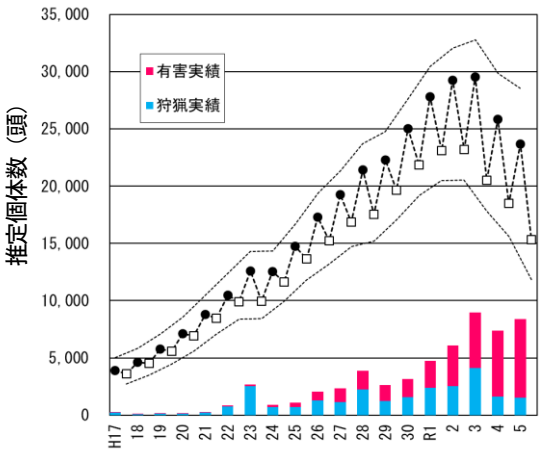
最新の推定による兵庫県の生息状況（令和５年度）は下記のとおりである。

推定生息数（95%信用区間）	令和５年度 捕獲前 １９３，０７２頭（ 177,044 ～ 211,305 頭） 令和５年度 捕獲後 １５０，５２０頭（ 134,492 ～ 168,753 頭）
推定増加率（95%信用区間）	令和５年度 25.84%（ 22.55 ～ 29.95 % ）

※ 平成 14 年度から令和 3 年度までの捕獲頭数、糞塊密度、SPUE(11-12 月)および CPUE のデータを統計処理（MCMC 法によるベイズ推定）することにより推定。
※ 推定増加率は、捕獲を加味しない計算上の値

地域による推定生息数の状況を的確に反映させるため、本州部と淡路島でデータをまとめて推定する従来の方法から、平成30年度計画からは、市町ごとに推定した結果を積み上げて全県の生息状況を推定する方法に変更した。

ユニットごとの推定生息数の動態を以下に示した（図－22～25）。



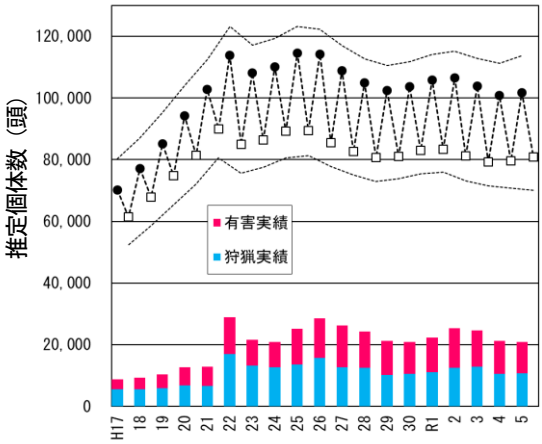
ユニット4 推定生息数動態

捕獲が進んでいなかったことで急激に生息数が増加していたが、ここ数年の積極的な捕獲対策強化の効果で生息数は減少に転じている。

SPUE(11-12 月)が上昇していることから、今後の推定生息数の動向を注視する必要がある。

ユニット4 SPUE(11-12月)
R5目標値 2.62 ↔ R5実績値 4.20

図－22 ユニット４の推定生息数動態



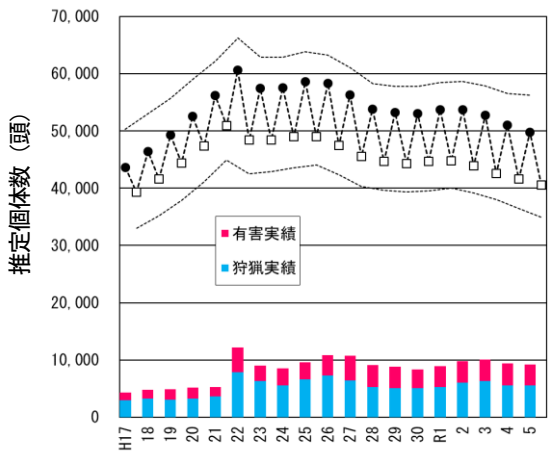
ユニット3 推定生息数動態

平成 22 年度の捕獲強化以降は、生息数の増加を抑え込んでいる状態。

捕獲数の年変動の影響により、推定生息数は若干の増減を繰り返しながら、減少傾向となっており、更なる捕獲により個体数の減少を図りたい。

ユニット3 SPUE(11-12月)
R5目標値 1.70 ↔ R5実績値 2.00

図－23 ユニット３の推定生息数動態



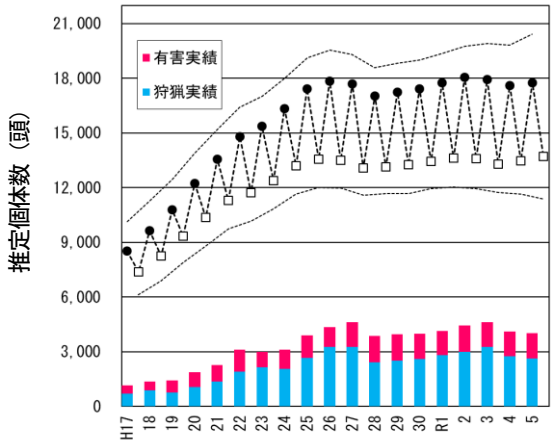
ユニット2　推定生息数動態

平成 22 年度以降の捕獲の増加により、生息数が減少傾向にある。

狩猟捕獲数、有害捕獲数ともに近年は 横ばいの状態が続いているが、SPUE(11-12 月)はＲ５目標値に対して実績が下回ったことから、捕獲の効果が現れているものと推察する。

ユニット2　SPUE(11-12月)
R5目標値 1.10 ↔ R5実績値 1.07

図ー24　ユニット２の推定生息数動態



ユニット1　推定生息数動態

平成 22 年度から捕獲数が増えたことにより、生息数の増加を抑え込み、その後は高止まりしている状態。

狩猟捕獲数、有害捕獲数ともに近年はほぼ横ばいの状態が続いており、SPUE(11-12 月)もわずかながら上昇していることから、生息域拡大を抑えるための捕獲が必要。

ユニット1　SPUE(11-12月)
R5目標値 0.55 ↔ R5実績値 0.73

図ー25　ユニット１の推定生息数動態

(14) 災害に強い森づくり（野生動物共生林整備他）の実施状況

平成 18 年度から災害に強い森づくり（第１期～第４期）に取り組んでおり、令和４年度までに野生動物共生林整備*1 を 28 市町 262 箇所で 5,692ha、針葉樹林と広葉樹林の混交整備**2 を 16 市町 136 箇所で 3,510ha、住民参画型森林整備を 26 市町 118 箇所で 270ha、広葉樹林化促進パイロット事業を８市町で 107.23ha 実施している（表ー６）。

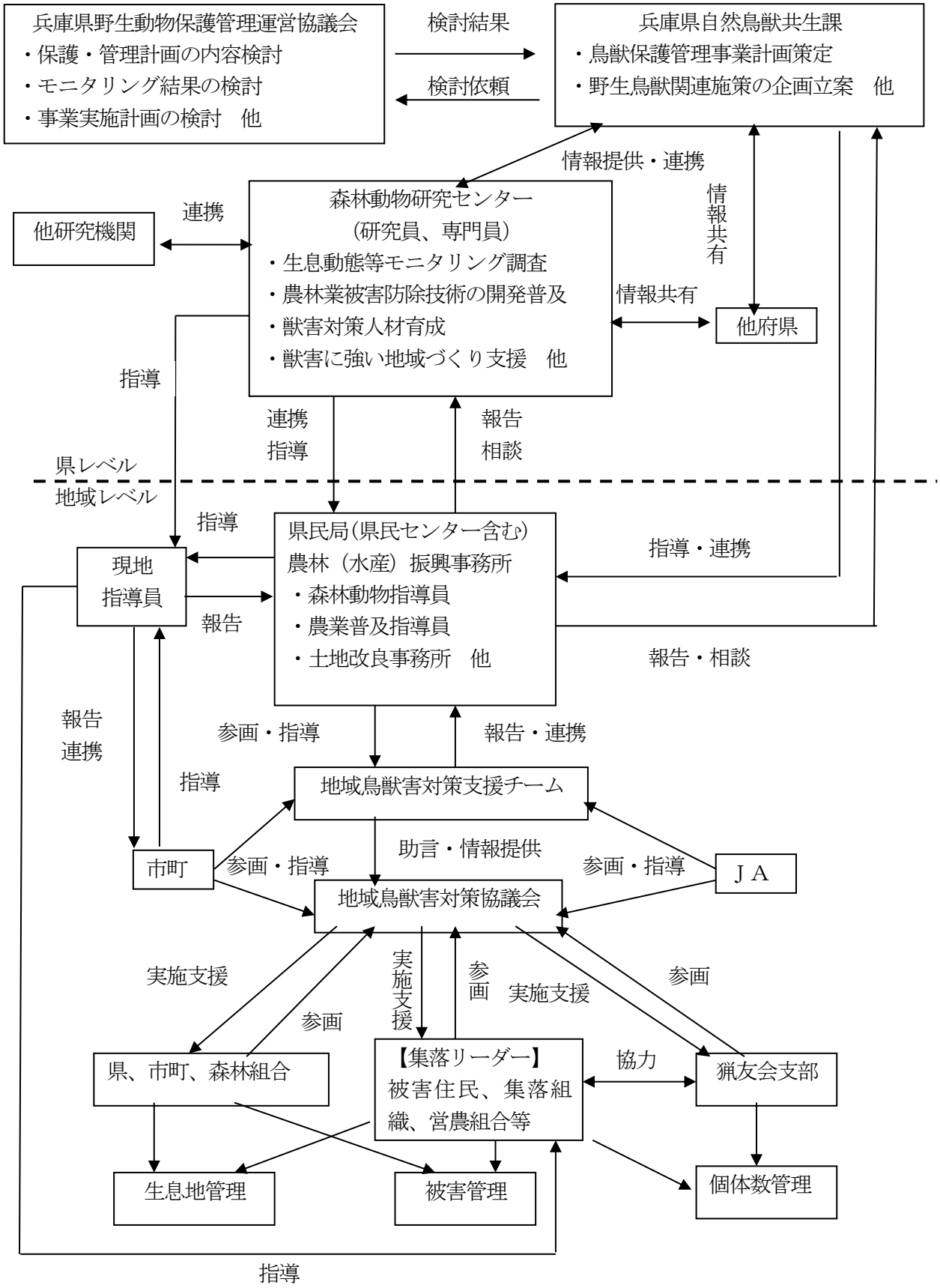
※1 第２期までの事業名は「野生動物育成林整備」
※2 第２期までの事業名は「針葉樹と広葉樹の混交林整備」

表－６　災害に強い森づくり実績（第１期～第４期・平成 18～令和５年度）

単位：面積 ha

事務所名	管内市町	野生動物共生林整備					針葉樹林と広葉樹林の混交整備			住民参画型森林整備		広葉樹林化促進パイロット事業
		箇所数	区域面積	バッファーゾーン整備面積	共生林整備面積	うち広葉樹植栽面積	箇所数	区域面積	広葉樹植栽面積	箇所数	区域面積	区域面積
神戸	神戸市	6	82.00	33.79						10	21.00	
阪神	宝塚市									1	2.00	
	川西市	2	37.00		20.45	0.09				1	2.00	
	三田市	6	141.00	26.02	1.73					3	6.00	
	猪名川町	1	29.00	7.19	0.12							
加古川	加古川市	1	20.00	17.85						7	14.00	
	高砂市	2	60.00	5.46						1	2.00	
加東	西脇市	6	187.00	24.25	7.35		1	30.00	3.84	1	2.00	
	加西市	13	308.00	47.98	2.76					3	6.00	
	多可町	14	244.00	64.98	5.98		19	452.00	34.29	2	4.00	9.28
姫路	姫路市	13	248.00	47.53	1.19		4	123.00	7.75	13	30.54	7.08
	神河町	8	123.00	26.69	20.89		10	268.00	34.32	3	6.00	
	市川町	12	238.00	68.69	11.05	0.60	2	59.00	1.13	11	23.00	
	福崎町	9	221.00	33.55	0.23					1	4.00	
光都	相生市	7	184.00	58.25	0.90		1	30.00	2.01	1	2.00	
	赤穂市	2	56.00	12.64	0.40							
	上郡町	6	156.00	24.72	1.38		1	15.00		1	2.00	
	佐用町	8	173.00	37.15	0.17					5	13.00	1.05
	太子町									1	2.00	
	たつの市	14	333.00	63.37	2.56		3	92.00	10.39	5	12.00	
	宍粟市	5	103.00	14.88	17.25	1.97	29	804.00	69.59	5	13.00	30.90
豊岡	豊岡市	12	339.00	73.84	2.08		7	135.00	6.80	8	16.00	
	香美町	18	354.00	92.79	8.20		8	191.00	5.95	17	43.00	
	新温泉町	10	298.00	73.81	21.17	2.93	2	66.00	2.83	2	5.00	0.60
朝来	養父市	29	587.50	119.33	14.33	0.02	9	211.00	18.69	5	16.00	
	朝来市	24	537.00	135.62	5.35		29	745.00	47.61	5	11.00	15.78
丹波	丹波篠山市	15	325.00	85.40	1.37		10	283.00	29.05	2	4.00	4.82
	丹波市	23	466.00	98.70	2.51		4	81.00	8.18	7	16.00	37.72
洲本	洲本市	3	92.00	21.83						4	8.00	
	南あわじ市	2	22.00	1.13	4.51	0.70				1	2.00	
	合計	271	5,963.50	1,317.44	153.93	6.31	139	3,585.00	282.43	126	287.54	107.23

２　計画の実施体制


兵庫県野生動物保護管理運営協議会
・保護・管理計画の内容検討
・モニタリング結果の検討
・事業実施計画の検討　他
検討結果
検討依頼
兵庫県自然鳥獣共生課
・鳥獣保護管理事業計画策定
・野生鳥獣関連施策の企画立案　他
情報提供・連携
情報共有
他研究機関
連携
森林動物研究センター
（研究員、専門員）
・生息動態等モニタリング調査
・農林業被害防除技術の開発普及
・獣害対策人材育成
・獣害に強い地域づくり支援　他
情報共有
他府県
指導
連携
指導
報告
相談
県レベル
地域レベル
指導
現地
指導員
報告
県民局(県民センター含む)
農林（水産）振興事務所
・森林動物指導員
・農業普及指導員
・土地改良事務所　他
指導・連携
報告・相談
報告
連携
参画・指導
報告・連携
指導
地域鳥獣害対策支援チーム
助言・情報提供
市町
参画・指導
参画・指導
ＪＡ
地域鳥獣害対策協議会
実施支援
参画
実施支援
参画
実施支援
参画
県、市町、森林組合
【集落リーダー】
被害住民、集落組織、営農組合等
協力
猟友会支部
生息地管理
被害管理
個体数管理
指導